Press Release

湖南市
Konan City Office

令和8年(2026 年) 10 月6日
都市建設部 交通政策課

湘南乃風 SHOCK EYE 氏／写真家 別所隆弘氏 原作
小説「草津線物語列車」(仮称)の1シーンを現実の風景に
＜滋賀デスティネーションキャンペーン＞

空き缶風車 10,000 個プロジェクト始動

― 草津線に乗らなければ出会えない景色を市民とつくる ―



■目的

小説「草津線物語列車」(仮称)では、主人公が JR 草津線の車窓から空き缶風車を目にし、その景色に惹かれて甲西駅に降り立つきっかけとなる重要なワンシーンとして描かれることが検討されていることから、JR 草津線に乗って湖南市を訪れたくなる新たな景観づくりと、キャンペーン終了後も地域に残るレガシーの創出を目指し、空き缶風車 10,000 個プロジェクトを始動します。

地域の資源である竹と、身近な空き缶から生まれる風車を組み合わせ、「草津線の車窓から見える湖南市ならではの風景」を市民とともにつくります。行政だけで完成させるのではなく、市民、地域、学校、企業、大学など多様な主体に参加いただき、空き缶風車の輪を市内各地へ広げていくことで、地域への愛着やつながりを育み、「湖南市といえば空き缶風車」と感じてもらえる新たな文化へ育てていくことを目指します。

■ 滋賀 DC プレ期間中のスケジュール

JR 甲西駅周辺 2 か所の複線化行き違い用地に、合計約 500 個の空き缶風車を設置

- 竹アートと空き缶風車を組み合わせた空間として整備します。JR 草津線の車窓から美しく見えることを意識するとともに、思わず写真を撮りたくなるような新たな景観の創出を目指します。(JR 甲西駅約 500m西側)
- 先行展示する約 500 個の空き缶風車は、湖南市滋賀 DC プロジェクトチームが制作します。景観整備については、本年 11 月 27 日(金)に予定されているメディア中心のモニターツアーまでに完成させることを予定しています。(JR 甲西駅南口前)

■ 地域を巻き込んだ今後の展開

- 東寺区では、秋の「湖南三山紅葉めぐり」の時期に向け、市民有志が約 200 個の空き缶風車を制作し、長寿寺山門付近に設置する予定です。
- 甲西中学校区コミュニティスクールでは、12 月 23 日に空き缶風車の制作を予定しており、子どもたちも湖南市の新しい景観づくりに参加します。

■問い合わせ

担当課名:交通政策課　　担当者名:宮島
(直通)0748 - 69-5602　16 時 45 分以降は、0748-72-1290　(FAX)0748 - 72-7964

いいものいろいろ
湖南市ふるさと納税

〒520-3288
滋賀県湖南市中央一丁目1番地
湖南市役所　秘書広報課
TEL　0748-71-2314　FAX　0748-72-1467

報道資料

竹 × 空き缶風車

草津線の車窓に、新しい物語の風景を。

湖南市では、JR 草津線の利用促進と新たな沿線景観の創出に向け、地域の竹と空き缶を組み合わせた市民参加型の「空き缶風車プロジェクト」を進めています。風を受けて回る色とりどりの空き缶風車と竹アートを一体的に展開し、「草津線に乗らなければ見られない景観」をつくります。







PROJECT ｜ 3 つのポイント

01　地域資源をアートに

身近な竹と空き缶を活用。
地域らしさを感じる景観へ。

02　車窓から楽しむ

JR 草津線の乗車そのものを
楽しみに変える仕掛け。

03　みんなでつくる

学校・地域・大学など
多様な主体とともに展開。

「この景色を見に、草津線に乗りたい」と思える沿線へ。

今後、甲西駅周辺を中心に展示を広げ、沿線への愛着とマイステーション意識の醸成につなげます。

湖南市 都市建設部 交通政策課

報道資料提供　令和 8 年 10 月 6 日　湖南市

草津線に乗らなければ出会えない景色を、みんなの手で。

「空き缶風車 10,000 個プロジェクト」始動

― 滋賀 DC を契機に、車窓の景色を湖南市の新たなレガシーへ ―

湖南市では、JR 草津線の利用促進と滋賀デスティネーションキャンペーン（滋賀 DC）後にも残る新たな景観・地域文化の創出を目指し、地域の竹と使用済みアルミ缶からつくる「空き缶風車」を組み合わせた市民参加型プロジェクトを始動します。令和 8 年度は JR 甲西駅周辺で約 500 個を先行設置し、将来的には市民・地域・学校・企業・大学等とともに 10,000 個の景色へ育てていきます。

■ プロジェクト誕生のきっかけ

JR 西日本、甲賀市、湖南市、草津線利用促進プロジェクト、滋賀県、東京カメラ部の共同企画として、湘南乃風 SHOCK EYE（ショックアイ）氏と写真家・別所隆弘氏と創る小説「（仮称）草津線物語列車」の制作発表を、連名で 10 月 1 日にプレスリリースしました。これは、JR 草津線の利用促進に向け、沿線を舞台とした物語を通じて観光地を巡り、その世界観を体感してもらう企画です。湖南市では、この企画を「草津線そのものの利用」につなげるため、観光地を訪れるだけでなく、列車に乗ること自体が旅の目的となる仕掛けが必要ではないかと考えました。そこで湖南市から提案したのが、「草津線に乗った人にしか見ることのできない景色」をつくることです。その象徴として、身近な使用済みアルミ缶を再利用した空き缶風車と、地域に身近な竹を組み合わせ、多くの人が関わりながら育てる新しい車窓景観を創出します。

■ なぜ「空き缶風車 × 竹」なのか

身近な素材	みんなでつくれる	湖南市らしい景観
使用済みアルミ缶を再利用し、資源循環・SDGs の視点を取り入れます。	市民、地域、学校、企業など、多様な主体が制作や景色づくりに参加できます。	自然素材の竹と風を受けて回る空き缶風車を融合し、車窓から印象に残る景色をつくります。

■ 滋賀 DC プレ期間中 ― まず約 500 個から

JR 甲西駅周辺の東西 2 か所の行き違い用地に、合計約 500 個の空き缶風車を先行設置します。空き缶風車は湖南市滋賀 DC プロジェクトチームが制作し、展示の土台となる竹アートインスタレーションは事業者に制作・設置を依頼します。草津線の車窓から美しく見える配置を意識し、「草津線に乗らなければ見ることのできない景色」を目指します。

11 月 27 日：メディアを中心としたモニターツアーで、実際の車窓から見え方等を確認予定

これから、景色を地域へ。

■ すでに始まる地域・学校での取組

東寺区 × 長寿寺	秋の「湖南三山紅葉めぐり」の時期に向け、東寺区の市民有志が約 200 個の空き缶風車を長寿寺山門付近に設置予定。地域自らが新しい景色をつくる先行的な取組です。
甲西中学校区コミュニティスクール	12 月 23 日のクリスマス会で空き缶風車を制作予定。子どもたちも湖南市の新しい景色づくりに参加します。

■ 令和９年度から、本格的に「みんなで広げる」

令和８年度は、先行的な取組を通じて、制作方法、安全性、展示方法、維持管理、必要な材料や市から提供できる支援等を検証します。その結果を踏まえ、必要な支援策について令和９年度当初予算への計上を検討し、令和９年４月以降、市民、地域、学校、企業、大学等への本格的な参加呼びかけを目指します。

年度	テーマ	主な展開
令和８年度	つくって、試す。	甲西駅約 500 個、東寺区約 200 個、学校等の先行取組。制作・展示・安全性等を検証。
令和９年度	みんなで、広げる。	４月以降、本格的な参加呼びかけを目指す。滋賀 DC 本番に向け市内各地へ展開。
令和 10 年度	地域に、根付かせる。	10,000 個を目指し、DC 後にも残る景観・観光資源・地域文化へ。

■ 目指すのは「10,000 個」だけではありません

「10,000 個」は単なる数量目標ではありません。一人ひとりがつくる小さな空き缶風車が集まり、参加する人や地域が増えるたびに湖南市の景色が少しずつ変わっていく。その過程そのものを大切にします。滋賀 DC を一過性の観光キャンペーンで終わらせるのではなく、草津線の利用促進につながる新しい車窓景観と、人と人とのつながりを湖南市に残し、「湖南市に来たら、草津線の車窓からあの景色を見たい」と思ってもらえるレガシーへ育てます。

メディアの皆さまへ

このプロジェクトは、完成した景色を発表するものではありません。約 500 個から始まった景色が、地域や学校へ広がり、市民や企業など多くの人が加わりながら、やがて 10,000 個の景色へと育っていくプロジェクトです。ぜひ完成した姿だけでなく、湖南市の新しい景色が人の手によって生まれ、広がっていく「過程」そのものにも注目していただき、継続して取材いただければと考えています。

NEWS RELEASE

2026 年 10 月 1 日
西日本旅客鉄道株式会社
甲　　賀　　市
湖　　南　　市
草津線利用促進プロジェクト
東京カメラ部株式会社

【JR 西日本×甲賀市×湖南市×草津線利用促進プロジェクト×東京カメラ部　共同企画】

湘南乃風 SHOCK EYE 氏・写真家 別所隆弘氏と創る「草津線物語列車」
～小説の舞台を実際に旅する、没入型の周遊企画～

西日本旅客鉄道株式会社、甲賀市、湖南市、草津線利用促進プロジェクト、東京カメラ部株式会社では、滋賀県南東部に位置する草津線の利用促進及び沿線地域の活性化を目的に、「草津線物語列車」の企画を進めています。

本企画では、草津線沿線を舞台にした書き下ろし小説を携えて列車に乗り、物語に登場する場所や人物を実際に訪れながら沿線をめぐることで景色と物語が重なり合い、これまでにない草津線の旅をお楽しみいただけます。

１．企画名

『草津線物語列車』（仮称）

２．企画概要

2027 年 10 月～12 月に滋賀県で開催されるデスティネーションキャンペーン（DC）に向け、草津線沿線に実在するスポットをピックアップして盛り込んだ小説を制作し、草津線沿線の魅力を「小説」という切り口で発信し、沿線地域への周遊・滞在を促進します。

また、今回の企画は、映画や小説の舞台を聖地巡礼するものと異なり、電車に乗りながら、そのスポットを主人公と同じ目線で巡ることで、作品の世界を体験できるという没入型の観光企画です。

小説の執筆を担当するのは、アーティストとして、またフォトグラファーとして多岐にわたる活躍をみせる湘南乃風の SHOCK EYE 氏、そして、原案の編集を担当するのは、滋賀県在住のフォトグラファーとして、また文学者として幅広く活動する別所隆弘氏です。

「フォトジェニック」というキーワードのもと、作者・編集者のお二人や東京カメラ部株式会社が厳選する、思わず写真を撮りたくなる草津線沿線のスポットが登場します。

報道関係者の皆様へ

DC のプレ期間となる本年は、報道関係者および東京カメラ部株式会社から招待されたフォトグラファーを対象として、11 月 27 日（金）にモニタリングツアーを開催します。詳細な内容は、改めて東京カメラ部株式会社からお知らせします。

また、モニタリングツアーの結果を踏まえ、さらなる企画のブラッシュアップを行い、より洗練された物語を 2027 年度にお届けします。

◎参考　作者・編集者紹介

【作者】

湘南乃風　SHOCK EYE



神奈川県生まれ。
RED RICE、若旦那、HAN-KUN と共に「湘南乃風」を結成。ヒット曲「純恋歌」「睡蓮花」は幅広い世代で歌い継がれている。プロデューサーとしても、ハロー！プロジェクト、WEST.、フィッシャーズなどへの楽曲提供を行う。近年では、インスタグラム上で会員限定のコンテンツ「Shrinegram」を運営。また写真家として、阪急うめだ本店で個展を開催するなど、音楽以外でも幅広い活動を行っている。著書に『歩くパワースポットと呼ばれた僕の大切にしている小さな習慣』（講談社）『SHOCK EYE の強運思考』（ダイヤモンド社）『目の前にいる人を幸せにすることから始めよう』（KADOKAWA）など 5 冊の書籍を出版している。

▼湘南乃風オフィシャル HP
http://www.134r.com/
▼Instagram
@shockeye_official
▼Twitter
@SHOCK_EYE_
▼Shrinegram
https://shockeye.jp/

【編集者】

別所隆弘



フォトグラファー、19 世紀アメリカ文学研究者、ライター。関西大学社会学部メディア専攻講師。琵琶湖を中心とした「Around The Lake」をライフワークとし、移ろう光と季節の一瞬を追い続けている。ナショナル ジオグラフィック「Nature Photographer of the Year 2017」空撮部門で世界 2 位を受賞。写真と文学、ふたつのメディアを行き来しながら、「その間」にある未踏の空間を探り続けている。
フォトグラファーとしての知見を活かして、インバウンドや地方創生事業、SNS 運用のコンサルタントなどにも関わる。Nikon Z8、Z5II の公式プロモーションに出演。近著『写真で何かを伝えたいすべての人たちへ』（インプレス）

▼Portfolio
http://www.takahirobessho.com
▼Instagram
@takahiro_bessho
▼note
https://note.com/takahirobessho
▼the Letter
https://takahirobessho.theletter.jp

今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 11 番、15 番、17 番に貢献するものと考えています。

JR西日本グループ　SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



お問合せ先：
【施策・モニターツアーに関すること】
東京カメラ部株式会社 地方創生事業担当執行役　柄木 孝志（からき たかし）
TEL：090-1670-9008、MAIL：takashi.karaki@tokyocameraclub.com
【施策に関すること】
JR 西日本 近畿統括本部 経営企画部（広報）　TEL：06-7661-3662